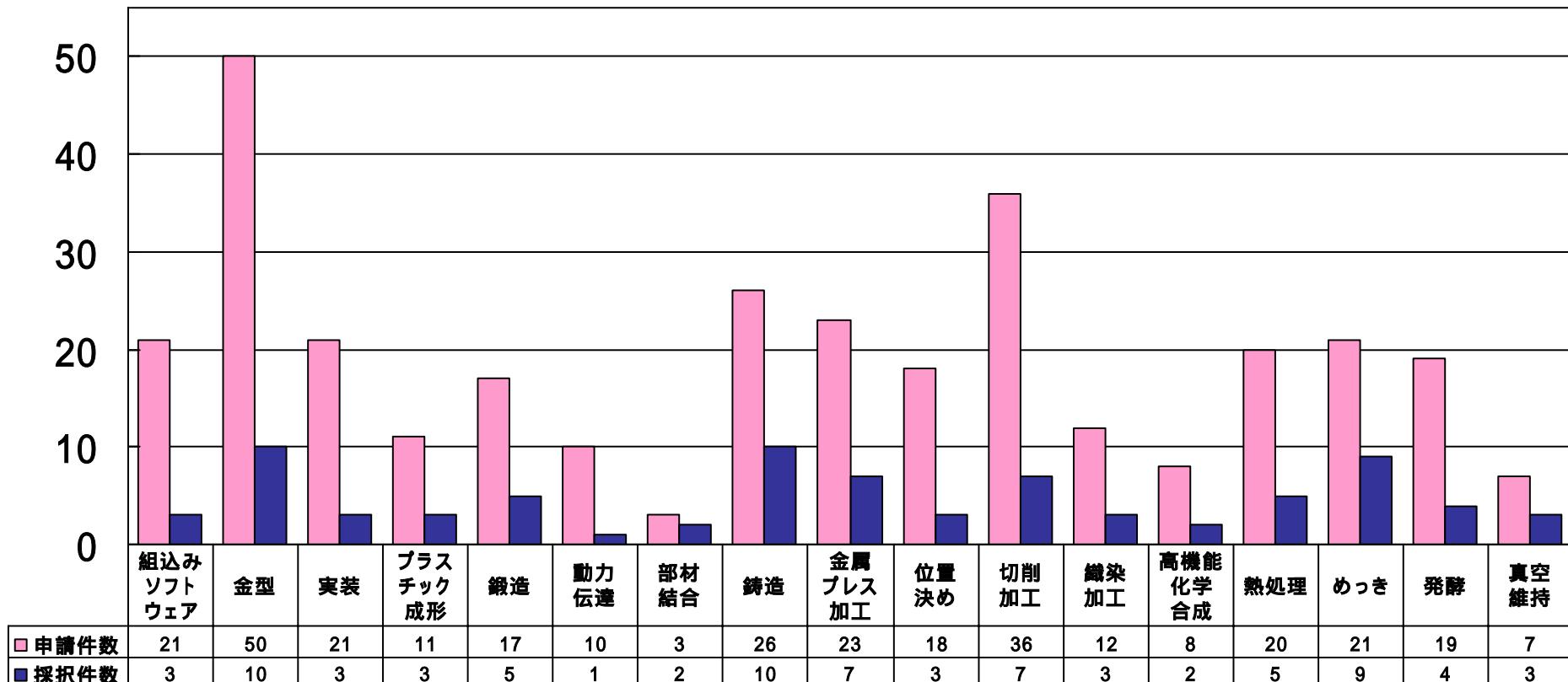


# 平成18年度 採択実績

平成18年度における「戦略的基盤技術高度化支援事業」は、金型技術分野で50件、切削加工技術分野で36件、鋳造技術分野で26件など、対象となる17の全技術分野で、合計で**323件**の申請があり、金型技術分野で10件、鋳造技術分野で10件、めっき技術分野で9件など、全技術分野で合計**80件**を採択した。

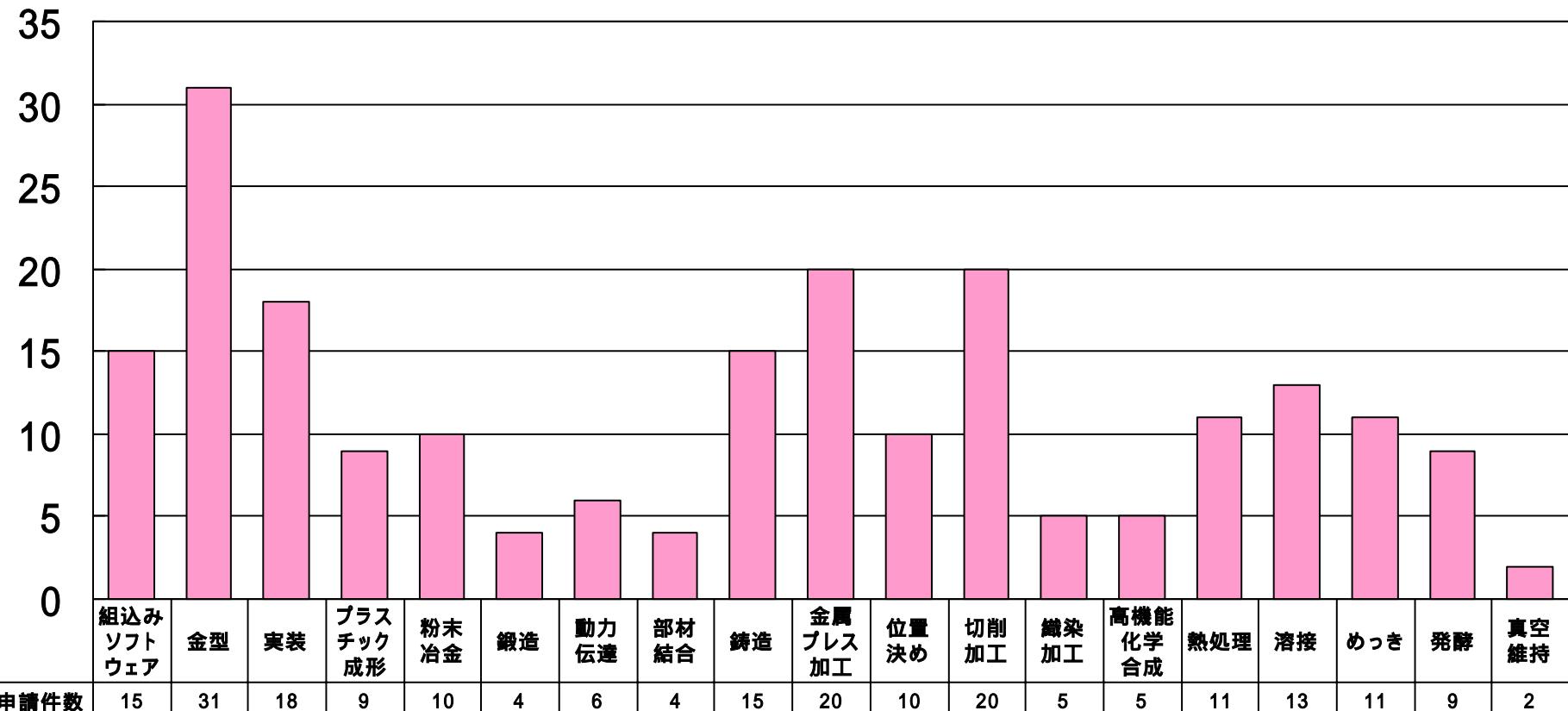


# 平成19年度 申請状況

技術分野	一般枠	川下分野横断枠	合計
組込みソフトウェアに係る技術	14	1	15
金型に係る技術	29	2	31
電子部品・デバイスの実装に係る技術	16	2	18
プラスチック成形加工に係る技術	9	0	9
粉末冶金に係る技術	9	1	10
鍛造に係る技術	3	1	4
動力伝達に係る技術	6	0	6
部材の結合に係る技術	3	1	4
鋳造に係る技術	15	0	15
金属プレス加工に係る技術	17	3	20
位置決めに係る技術	10	0	10
切削加工に係る技術	19	1	20
織染加工に係る技術	4	1	5
高機能化学合成に係る技術	5	0	5
熱処理に係る技術	11	0	11
溶接に係る技術	12	1	13
めっきに係る技術	11	0	11
発酵に係る技術	9	0	9
真空の維持に係る技術	1	1	2
合計	203	15	218

# 平成19年度 受付状況

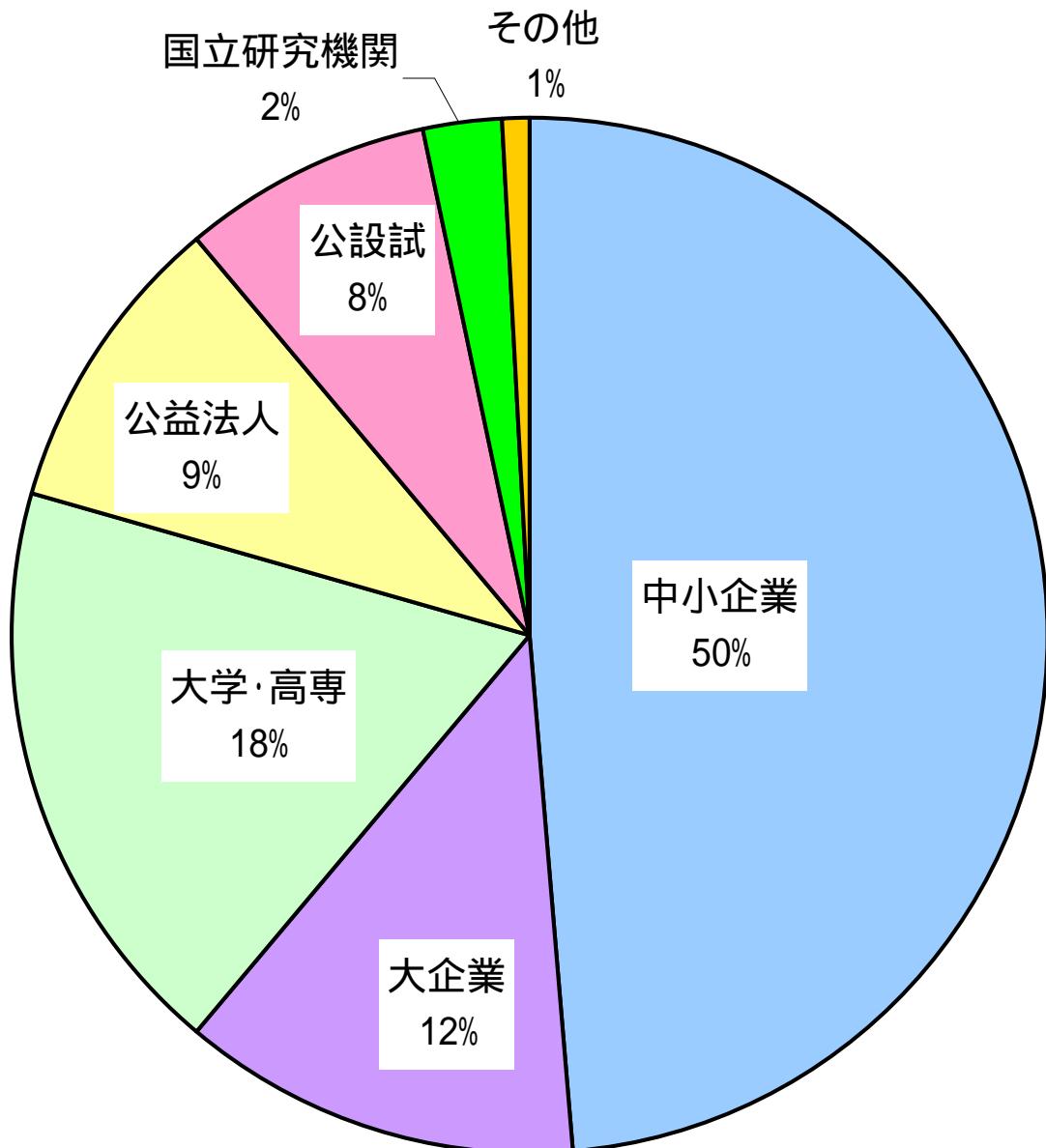
平成19年度における「戦略的基盤技術高度化支援事業」は、5月15日に公募を締め切り、金型技術分野で31件、金属プレス加工技術分野で20件、切削加工技術分野で20件など、対象となる19の全技術分野で**218件**の申請があり、今後、審査を進めて7月下旬を目処に採択・契約を行う予定。



# 「平成18年度戦略的基盤技術高度化支援事業」採択案件における構成割合

構成員	事業者数
中小企業	258
大企業	66
大学・高専	97
公益法人	50
公設試	41
国立研究機関	13
その他	5
合計	530

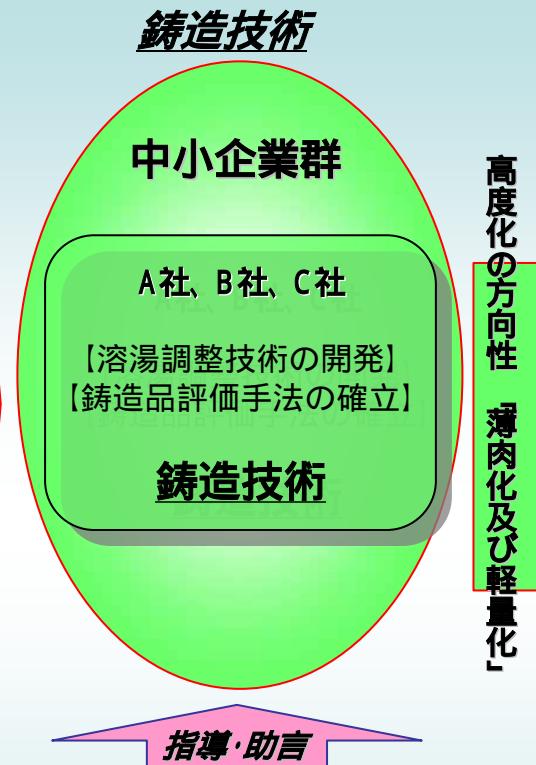
採択件数 80件  
平均 6.6事業者/件



# 戦略的基盤技術高度化支援事業採択事業事例【鋳造技術】

開発テーマ：極薄肉鋳造技術の自動車用鋳物部品軽量化への応用開発

## 共同研究体



## 高度化目標：

自動車部品の軽量化を可能にする鋳造技術の開発（薄肉化及び軽量化を実現するための鋳造技術の開発）

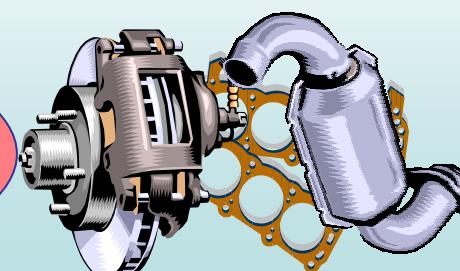
## 技術目標：

- ・溶湯調整技術の開発：  
化学的処理による脱酸素処理の最適化技術の確立
- ・実験結果のデータベース作成  
鋳物薄肉化による軽量化

## 応用展開例

その他の分野 農業機械・産業機械他  
自動車のブレーキ系等構造部品 自動車用鋳鉄部品

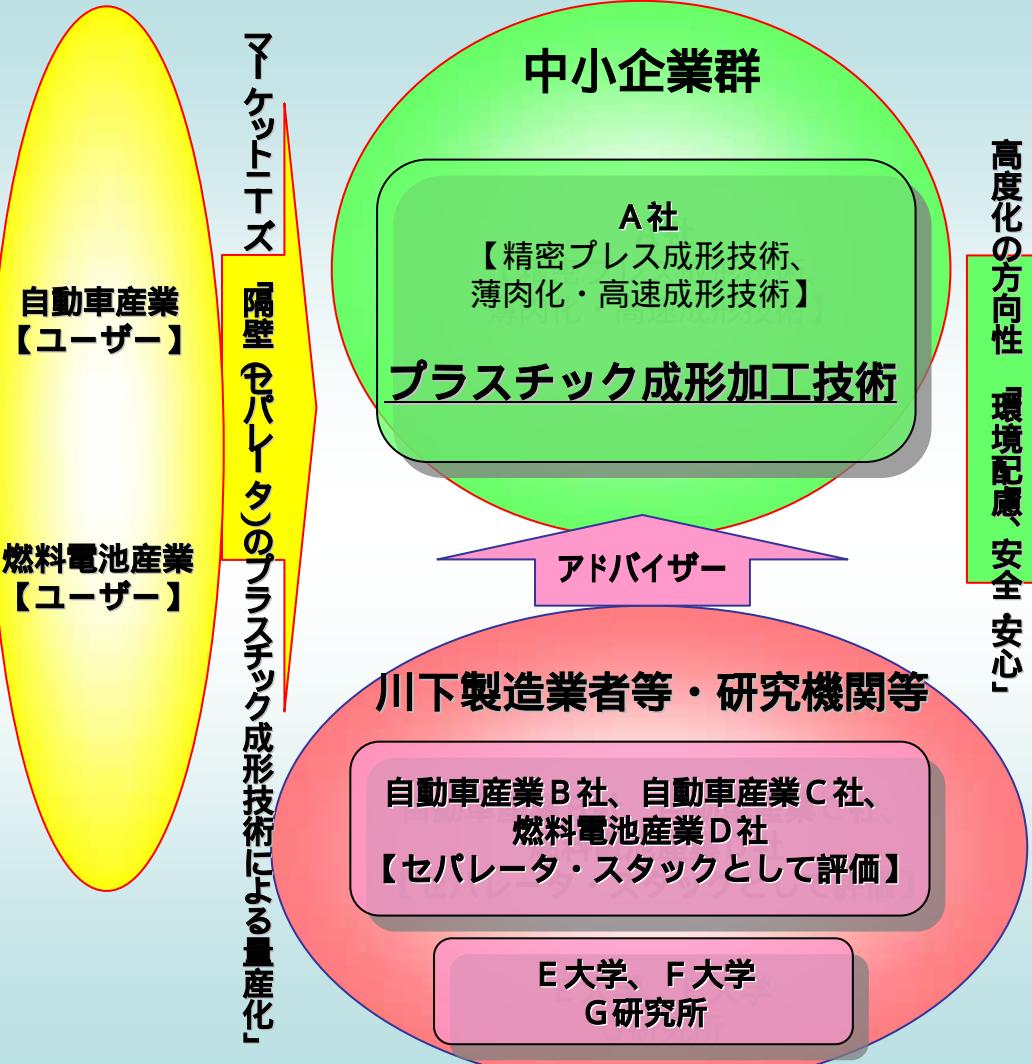
【】



# 戦略的基盤技術高度化支援事業採択事業事例【プラスチック成形加工技術】

## 開発テーマ：燃料電池セパレータ板の成形技術開発

### 共同研究体



### 応用展開例

#### 高度化目標：

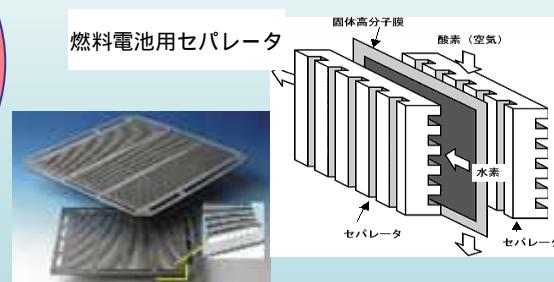
燃料電池スタック（セパレータ）  
の導電性、耐酸性の向上及び精密  
成形（ガスの流路）、薄肉化、低  
コスト化、高速成形

#### 技術目標：

・加工精度:  $\pm 0.1$  mm以下  
(溝間隔、溝深さ)

・薄肉化: 0.5 mm以下  
(セパレータ厚み)

・高速成形時間: 1秒 / 1枚 以下



携帯電話用マイクロ燃料電池【情報家電産業】  
自動車用燃料電池（隔壁）セパレータ等【自動車産業】

# 今後の展開

中小ものづくり高度化法における見直し等への対応

- ・新技術分野の追加検討

- ・「特定ものづくり基盤技術高度化指針」の見直し

既採択案件のフォロー

- ・中間評価にて進捗の補足、方向性の見直し等

- ・最終評価にて当該研究開発の適切な評価

- ・フォローアップ調査にて事業化の状況把握

新規案件の発掘